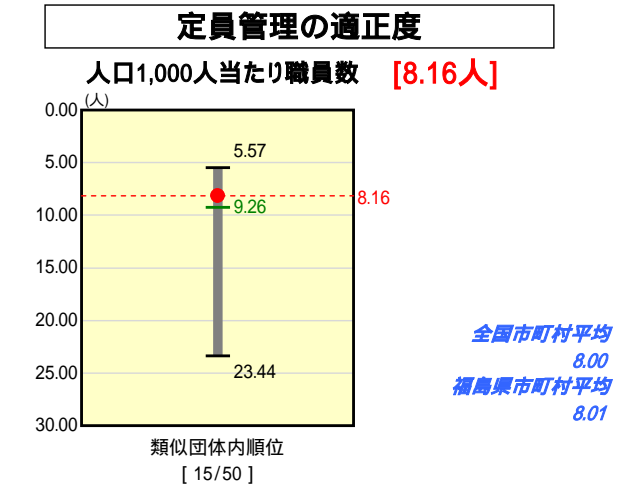
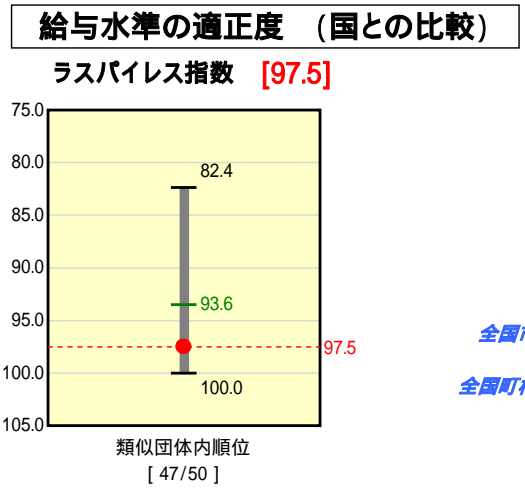
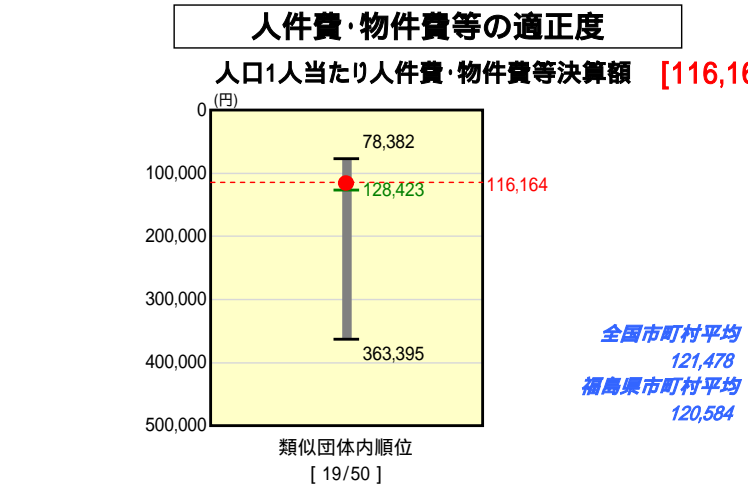
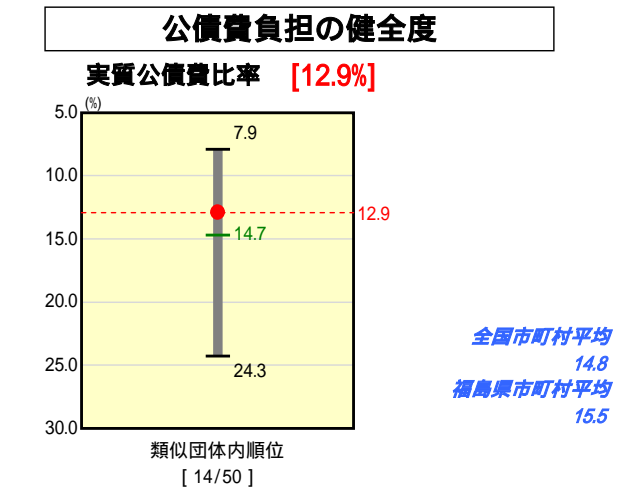
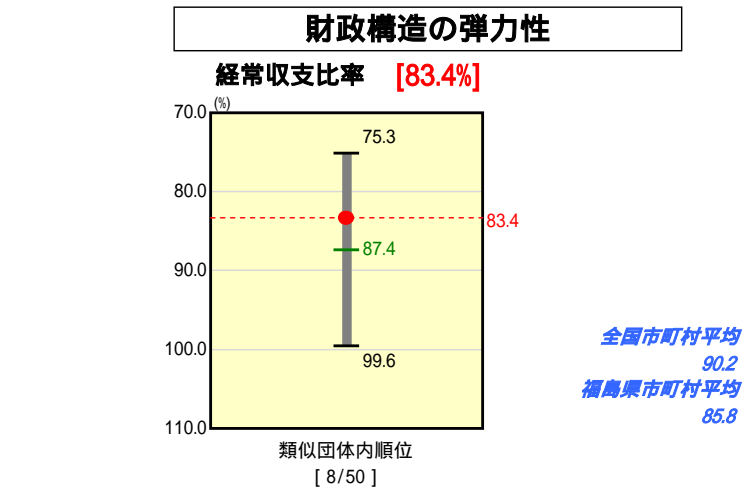
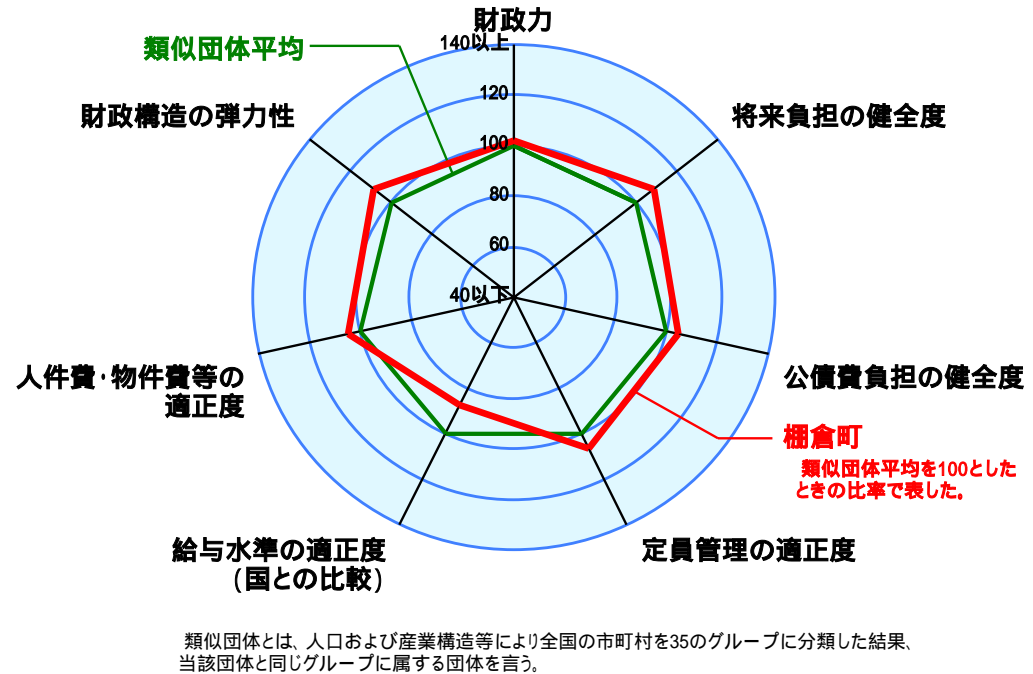
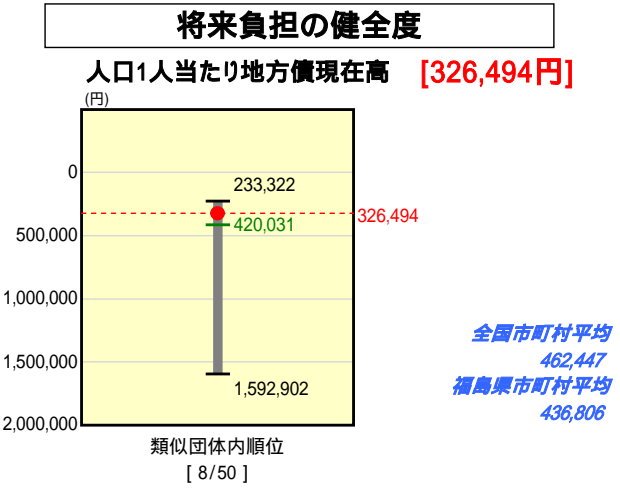
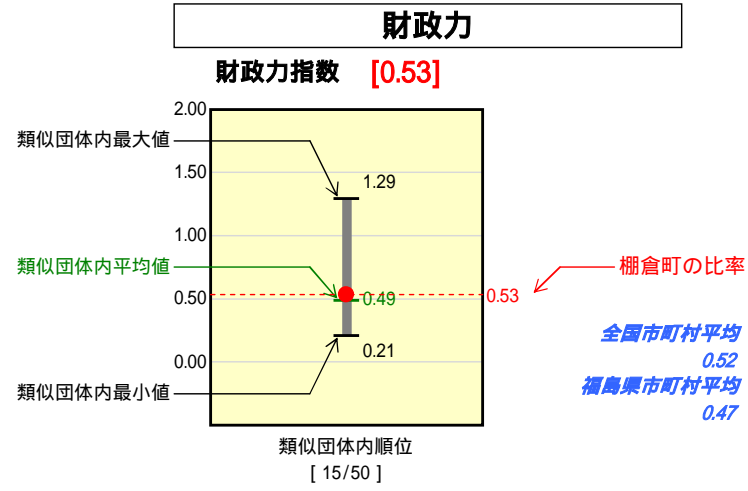


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福島県 柵倉町

人口	15,933人	(H18.3.31現在)
面積	159.82	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,382,105	千円
歳出総額	5,177,106	千円
実質収支	186,698	千円



**分析欄**

**財政力指数**：平成17年度では0.53となっており、類似団体平均値を上回っているが、今後とも財政基盤の強化を図るため、投資的経費をはじめ、物件費、補助費などの歳出削減に努める。

**経常収支比率**：経常一般財源ベースにおける歳入では、対前年度比で地方税約157,400千円(8.8%)の増、地方譲与税約28,600千円(26.5%)の増、地方交付税交付税約102,200千円(7.1%)の減となり、歳入全体では約54,900千円(1.5%)の増となった。

歳出では、人件費で約27,200千円の減、物件費で約9,700千円の減、維持補修費で約5,500千円の減、扶助費で7,900千円の増、補助費等で約7,500千円の減、ルネサンス柵倉整備事業の償還や小学校プール建設の償還終了により公債費で約82,900千円の減となり、歳出全体で約128,000千円(3.7%)の減となり類似団体平均値を4%下回っているが、今後行政改革の推進により、上・下水道料金の見直しや受益者負担金の見直しなどにより財源の確保を図るとともに、平成14年度から進めている定員適正化計画に基づき人件費の削減(平成16年度から10年間で職員30名削減等)や事務経費の削減、投資的経費について重点選別主義の徹底を図っていく。

**実質公債費比率**：平成17年度決算からの実質公債費比率は3ヶ年平均で12.9%となっており、類似団体平均値を下回っている状況であり、今後も県の要領による財政健全化計画や町独自で策定している町振興計画実施計画を踏まえ、事業の抑制や重点選別主義により今後も実施していく。

**人口1人当たり地方債現在高**：ルネサンス柵倉整備事業の償還や小学校プール建設の償還終了により類似団体平均値を下回っているが、今後学校施設等の耐震改修事業が年次計画されているが、他事業における地方債の発行を抑制し類似団体平均値を上回らぬよう努める。

**ラスパイレス指数**：町の平均年齢となる43歳以上の職員が全体の53%を占めている状況で高齢層が偏在しているため、類似団体に比べ高い状況にある。

**人口1,000人当たり職員数**：類似団体平均値を下回っているが、平成14年度策定の定員適正化計画に基づき人員の削減(平成16年度から10年間で職員30名削減等)に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**：類似団体平均値を約10%程度下回っているが、今後とも継続して抑制に努める。